



いきもの探検
”みるみるみーるね”
#2

期日 2019年8月29日（木）
時間 15時30分～17時
場所 安平町追分公民館（北海道勇払郡安平町追分緑ヶ丘200-2）
対象 小学生、保護者、他
講師 北海道エコ動物自然専門学校 大塚 武 先生

環境省アクティブレンジャー、北海道立洞爺自然学校の家での仕事を経て、現在北海道エコ動物自然専門学校の自然調査アウトドアガイド先行の教員として在籍。

活動概要

公民館周辺の自然を活用し、外での遊びの機会を提供していくことで、外で遊ぶことの楽しさを知る機会として実施。今回で2回目となる。また、今回は放課後を活用し、今後も定期的を開催していくことで遊び機会の積み重ねの体験をしていくことを目指し実施していく。

- 参加者 12名
(内訳)
追分小学校12名
(1年生3名、2年生5名、3年生2名、4年生1名、5年生1名)
※継続者8名、新規者4名

いきもの探検！！

2回目となる、いきもの探検。雨が降っていたということもあり、テーマは「雨で生きる、いきもの探検」を行なった。

1回目に参加者も多くいたこともあり、前回行なった内容を簡単にふりかえった。その後、いきもの生きていくために必要なこととは何か、を説明。参加者は、悩みながらではあったが答えた。(たべもの、みず、すみか、ひかり、くうき)



室内での話が終わり、野原へいく前の課題を説明。今回の課題は、「いきものビンゴ」。ビンゴをしていきながら、野原にいる、いきものを探すのが課題となっている。

野原へ出てからは、各々自由に探検を開始。自分の成長よりも高い植物に驚き、恐る恐る野原の奥へいく参加者。最後の方は、なれてきたのか、どンドン奥へ行く様子が見られた。終了時、参加者は次回に向けて遊びのアイディア



が上がった。

(子どもの意見)

- ・森の中で虫探しをしたい
- ・動物を見つけたい
- ・かくれんぼをしたい
- ・森に入ってトラップをしかけたい
- ・水鉄砲ボトルがしたい

このことを踏まえて、子どもからでた意見を次回以降に形にしていき、子どもにとって「外で遊ぶことが楽しい」と感じることができる時間を継続的に実施していきたいと考えている。

